

S O K E N D A I

国立大学法人

総合研究大学院大学
複合科学研究科

情報学専攻

博士課程（5年一貫制）／博士課程（3年次編入学）

2022-2023

ACHIEVING
EXCELLENCE
IN INFORMATICS

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所
National Institute of Informatics

国立情報学研究所で 博士を取る

国立情報学研究所（NII）は、総合研究大学院大学（総研大）に
参画、複合科学研究科に情報学専攻を開設し、
博士課程（5年一貫制）と博士課程（3年次編入学）を
設置しています。情報学専攻では、国立情報学研究所が
有する最先端の設備と国際的な雰囲気の中で、
第一線の研究者による研究教育指導を受けることが可能です。



国立情報学研究所長
喜連川 優

情報学が世界を変える

情報技術によって新しい価値やサービスが次々と創出される超スマート社会を実現するにあたり、「情報学」の重要性はますます高まっています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大によって急速に社会のデジタル化が進行し、情報技術の重要性が改めて認識されています。情報学は、従来の情報科学・情報工学を基盤としつつ、データサイエンスや人文・社会情報学などを包含した情報に関する総合的学問分野です。

我が国唯一の情報学の学術総合研究所である「国立情報学研究所（NII）」の中に設置されている情報学専攻は、最先端の情報学の素養を身に付け、広い視野、柔軟な思考力と高度な専門知識を持つ研究者、及び情報学に関する国際的・学際的なプロ

フェッショナルな企業人を養成することを目的としています。

私たちが求める学生像は明確です。高度情報社会の実現に向け、自然科学から人文社会科学を幅広く横断した学際領域である情報学に関して強い興味を持ち、情報学の分野でリーダーとして活躍する研究者や、社会に役立つ情報技術を開発する高度な企業人となる素質を有している学生、あるいは企業等に在職のまま、広い視野と深い専門知識を獲得しようという意思を持つ社会人の方々です。

意欲に満ちた人が一人でも多く情報学専攻に入学され、新たな挑戦を試みられることを私たちは期待しています。情報学の進化と深化がこれからの世界を変えていくと私たちは確信しています。



情報学専攻長
山田 誠二

情報学を極める

情報学専攻は、情報基礎科学、情報基盤科学、ソフトウェア科学、情報メディア科学、知能システム科学、および情報環境科学の6分野で構成されています。これらを統合する『情報学』は、近未来の社会・環境をより豊かにしていくことができるAI、データサイエンス、情報科学、さらには従来の理工学にとどまらず、人間や社会を対象とする人文情報学、社会情報学を広くカバーする総合的な学問分野です。当専攻では基礎・応用・実用のさまざまなフェーズの研究・教育が行われており、研究者を養成すると共に、高度な専門職業人を養成し、情報学の分野で活躍するリーダーの人材を育成することを目的としています。

NIIにおける世界第一線の研究者による密度の高い指導体制と学位指導により、個々の学生の意欲や目的・研究計画にフィットした形で研究指導が行われます。また、異なる分野や同じ分野でも違う角度から研究を行っている複数の教員がサブアドバイザーとして、研究の内容や方向性に対して幅広い視点から助言するアドバイザー制度を設けています。デュアル・ディグリー制度を利用して、一定期間、海外の研究教育機関で博士研究の指導を受

けることも可能になっています。学部卒業生は博士課程（5年一貫制）で個々の研究テーマに十分な時間をかけて取り組み、修士課程修了生は博士課程（3年次編入学）でそれまでの研究を発展させたテーマに集中して取り組むことができるよう指導プログラムが用意されています。

情報学専攻の学生は、総合研究大学院大学の学生であると共に、NIIにおいて、日常的に国際連携の環境の中で学び、さまざまな研究プロジェクトに参加することで、海外協定大学・研究機関との人材交流プログラムを通して国際的研究者としての経験を積むことができます。日本人学生の約半数は、企業に籍を置いたまま、今まで行ってきた仕事を研究面から体系的にまとめ直し、さらに最先端の技術を身につけたいと入学してきた社会人学生です。留学生の割合が高いことも特長で、英語による講義科目も多く、学生間の異文化交流も、国際的な活躍をめざす若者にとっては貴重な環境となっています。さらに、総合研究大学院大学の他の基盤機関・専攻との連携によって交流の輪を拡大することができ、貴重な人的ネットワークを構築することが可能です。

情報学専攻とは

総合研究大学院大学とは

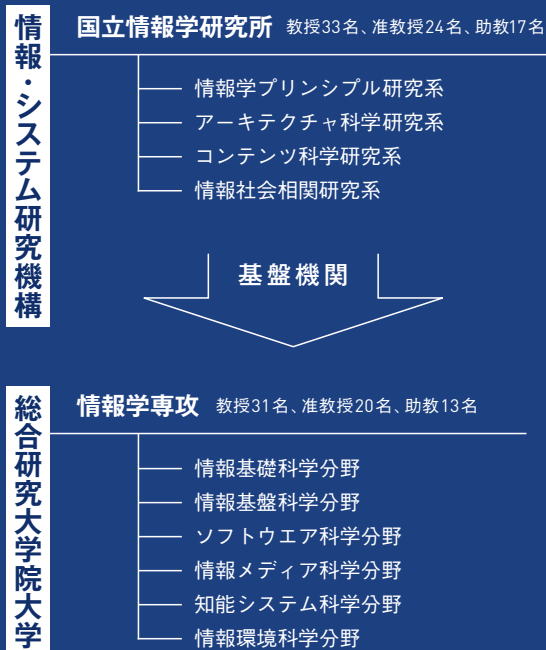
総研大は、大学共同利用機関という研究所などを基盤とする専攻と、大学本部に直結した先導科学研究科からなる、学部を持たない大学院だけの大学です。大学共同利用機関とは、各研究分野において日本全国の大学が共同で利用できる研究所であり、これらの機関は、それぞれの研究分野の拠点として最先端の研究を行いながら、研究者コミュニティの中核となり、国際的な共同研究も推進しています。

総研大は、このような優れた研究拠点で院生の教育を行い、次世代の研究者を養成するという、世界にも類をみないコンセプトのもと、1988年10月に設立されました。

国立情報学研究所とは

国立情報学研究所は、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構を構成する4つの機関の一つです。日本で唯一の情報学の学術総合研究所として、長期的な視点に立つ基礎研究から社会課題の解決を目指した実践的研究を推進しています。同時に、大学共同利用機関として、学術コミュニティ全体の研究・教育活動に必須となる最先端の学術情報基盤や学術コンテンツ、及びサービスの提供といった事業を展開しています。

▼ 国立情報学研究所と情報学専攻の関係



▼ 総研大の各専攻と大学共同利用機関の関係



情報学専攻の特色

1

トップレベルの研究環境

国立情報学研究所に所属するトップレベルの研究者による指導が受けられるほか、他大学ではなかなか利用しにくい最先端の研究機器や施設を利用することができます。また、学生に対する教員の比率が高いだけでなく、学生1人に対し、アドバイザー1人とサブアドバイザー2人の計3人が指導にあたる、充実した指導体制を整えています。



2

学生をリサーチ・アシスタントとして雇用

情報学専攻の学生は、国立情報学研究所にてリサーチ・アシスタント（RA）として勤務し、経済支援を受けることができます（社会人学生、国費留学生、総研大特別研究員を除く）。また、特に優秀な学生には、時給を増額する制度もあります。そのほかにも、総合研究大学院大学では、特別研究員制度、授業料免除申請制度があります。

3

修了生の多くが国内外で研究者として活躍

情報学専攻には多くの留学生が在籍していることから、ゼミや講義を英語で実施することも多く、国際的な感覚を身に付けるのにも最適です。専攻では、国際的に活躍する研究者を目指す学生には他にない環境を整えており、修了生の多くは、国内外の大学や研究所で研究者として活躍しています。

国際レベルで活躍する研究者を養成するための大学院です

情報学副専攻長
(教育研究担当)
武田 英明



情報学専攻は国立情報学研究所（NII）に設置しており、NIIの研究スタッフ（教授、准教授）が教員として指導を行います。NIIは国際的に著名な情報学の拠点研究所であり、世界中の国々から研究者が集まり、日々研究をおこなっています。学生の皆さんも研究所の一員となって、国際的な研究を肌身で感じながら、学習および研究を行うことになります。学生の皆さんは、日々、指導教員やアドバイザーの教員からの研究指導を受けて研究

を行い、その研究成果を国際会議発表やジャーナル論文として発表し、博士の学位を取得することになります。世界トップレベルの研究者でもある教員の手によって、世界に通用するトップレベルの研究人材を育成する、これが情報学専攻のミッションなのです。そうした学生の皆さんの活動をサポートするために、学生（社会人学生と国費留学生を除く）を積極的に研究所がリサーチ・アシスタントとして採用し、皆さんを経済的に支援しています。

国際色豊かな情報学専攻で学ぼう

情報学副専攻長
(国際連携担当)
五島 正裕



情報学専攻が設置されている国立情報学研究所は、海外の約100の大学や研究機関と国際交流協定を結んでおり、情報学の幅広い分野で国際共同研究を展開しています。専攻の学生も半数以上が留学生で、多くの講義や研究指導が英語によって行われています。また、各種制度による奨学金の提供や海外インターンシップのサ

ポートなども行っていて、学生が研究成果を国際会議等で発表することを奨励しています。情報学専攻は、このように、異文化が交流する環境においてグローバルな視野と高度な専門知識を身につけた、情報学の将来を担う人材の育成を目指しています。

学位取得の流れ

情報学専攻の修了要件は、所定の単位を習得し、適切な指導のもとで研究を実施し、研究成果をまとめた博士論文の審査に合格することです。博士課程（5年一貫制）と博士課程（3年次編入学）それぞれにおいて、下記のようなスケジュールで審査会などを実施しています。

	1年次												2年次																			
4月入学	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7				
博士課程（5年一貫制） 修了単位数：40単位以上	入学												中間審査						前期報告			後期課程										
	18ヵ月												4ヵ月																			
博士課程（3年次編入学） 修了単位数：10単位以上																							入学									
	1年次												2年次																			
10月入学	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1				
博士課程（5年一貫制） 修了単位数：40単位以上	入学												中間審査						前期報告			後期課程										
	17ヵ月												5ヵ月																			
博士課程（3年次編入学） 修了単位数：10単位以上																							入学									

カリキュラム

最先端の設備と国際的な雰囲気の中で、
第一線の研究者による研究教育指導を受ける

情報学専攻では、国立情報学研究所が有する最先端の設備と国際的な
雰囲気の中で、第一線の研究者による研究教育指導を行っています。情報学専攻の
修了要件は、所定の単位を修得し、適切な指導のもとで研究を実施し、
研究成果をまとめた博士論文の審査に合格することです。

修了に必要な履修単位数

博士課程（5年一貫制） → 40 単位以上	博士課程（3年次編入学） → 10 単位以上
---------------------------------	----------------------------------

専攻専門科目

●情報基礎科学

情報論理学	龍田 真
数値計算論	未定
アルゴリズム	宇野 毅明
離散数学	河原林 健一
数理論理学	龍田 真
量子情報システム	未定
量子コンピュータ	松本 啓史
計算論的神経科学	未定
劣線形アルゴリズム	吉田 悠一
制御と最適化	岸田 昌子
数値解析	未定
グラフアルゴリズム	未定
アルゴリズムのマーケットデザイン	横井 優
計算量理論	平原 秀一
計算的ゲーム理論	五十嵐 歩美
機械学習における組合せ最適化	藤井 海斗

●情報基盤科学

計算機システム設計論	米田 友洋 五島 正裕 石川 裕
計 字生	阿部 俊二
情報通信システム論	福田 健介 金子 めぐみ

●ソフトウェア科学

プログラム構造論	未定
分散システム	佐藤 一郎
データ工学	高須 淳宏
ソフトウェア工学	石川 冬樹
確率の情報処理	北本 朝展
組込みリアルタイムシステム	青木 俊介
形式手法における数理的構造	蓮尾 一郎
データベース基礎論	加藤 弘之
計算機言語理論	対馬 かなえ
物理情報システムのための形式手法	蓮尾 一郎
ソフトウェア検証論	関山 太朗

●情報メディア科学

メディア処理基礎	山岸 順一 児玉 和也 池畑 諭 孟 洋 佐藤 真一 杉本 晃宏 相澤 彰子 片山 紀生 後藤田 洋伸
メディア処理応用	山岸 順一 杉本 晃宏 佐藤 いまり 児玉 和也 池畑 諭 孟 洋 新井 紀子 後藤田 洋伸 越前 功 YU, Yi

●知能システム科学

人工知能基礎論	井上 克巳
知識共有システム	武田 英明
推論科学	佐藤 健
ヒューマンエージェント インタラクション	山田 誠二
機械学習	未定
自然言語処理	相澤 彰子 菅原 朔
ロボット情報学	稲邑 哲也
深層学習	PRENDINGER, Helmut
コミュニケーション環境論	坊農 真弓
計算社会科学	水野 貴之
データマイニング	杉山 麿人

●情報環境科学

デジタルパブリケーション	大山 敬三
情報検索	神門 典子
ICTビジネス論	岡田 仁志
情報環境統計論	孫 媛
科学計量学	西澤 正己

研究科共通専門基礎科目

論理学基礎	龍田 真
アルゴリズム基礎	宇野 毅明
量子情報・量子計算	未定
ハイパフォーマンス コンピューティング概論	合田 憲人 鯉沼 道紘 竹房 あつ子 石川 裕
情報流通システム アーキテクチャ概論	漆谷 重雄 高倉 弘喜 栗本 崇
ソフトウェア科学概論I	ソフトウェア科学関連の全教員
ソフトウェア科学概論II	ソフトウェア科学関連の全教員
情報メディア概論	情報メディア科学関連の全教員
知能システム科学概論I	未定 佐藤 健 武田 英明 PRENDINGER, Helmut
知能システム科学概論II	杉山 麿人 坊農 真弓 水野 貴之 菅原 朔
情報環境科学概論	情報環境科学関連の全教員
科学プレゼンテーション・ 科学ライティング	金子 めぐみ 五十嵐 歩美 WU, Stephen (統計科学専攻) JONES, Caryn (外部講師)
情報セキュリティ基盤概論	越前 功 高倉 弘喜 岡田 仁志
応用線形代数	杉本 晃宏 佐藤 真一 岸田 昌子
ビッグデータ概論	ビッグデータ関連の教員
実践データサイエンス	山地 一禎

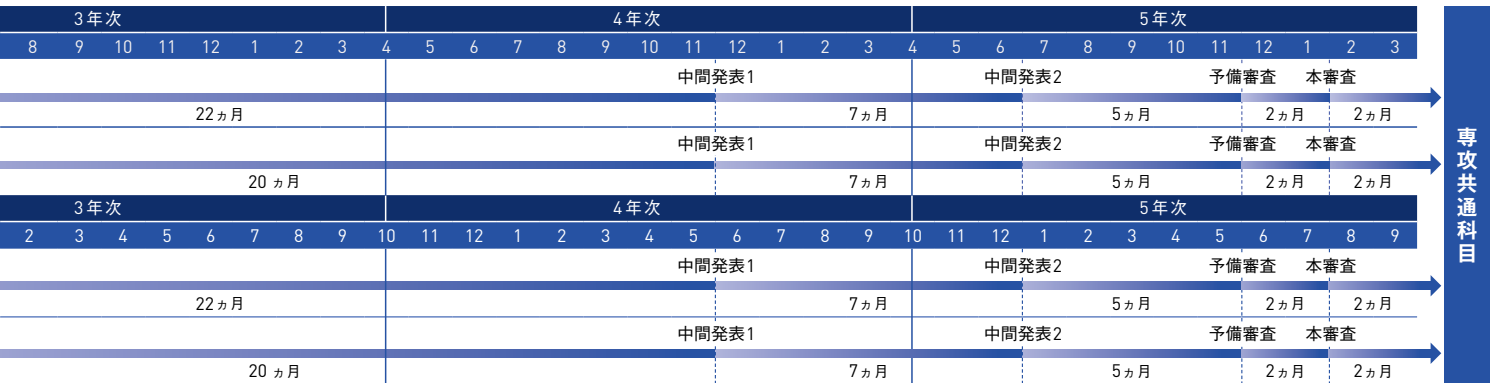
専攻共通科目

情報学特別実験研究 IA・IB～VA・VB	情報学専攻の全教員
情報学特別演習 IA・IB～IIA・IIB	情報学専攻の全教員
情報学総合研究 IA・IB～IIA・IIB	情報学専攻の全教員

※開設科目は変更する場合があります。

下記のウェブサイトから、今年度の講義時間割や科目シラバスの内容を確認いただけます。

情報学専攻ウェブサイト(時間割) — <https://www.nii.ac.jp/graduate/curriculum/timetable/>
総研大ウェブサイト(カリキュラム) — <https://www.soken.ac.jp/education/curriculum/>



※イメージ図

情報基礎科学

情報学全体の基礎となる
数学的理論を展開

情報基礎科学では、情報学の基礎となる理論を研究します。
これらの理論は、それ自体に深い意義があるだけでなく、ネットワーク、ソフトウェア、AIなど、情報学の幅広い応用分野の基礎となります。
特に、アルゴリズム理論、数理解最適化やプログラムに関する数理を中心として研究を行います。

宇野 毅明 教授

[研究キーワード]

アルゴリズム計算、最適化、データマイニング、データベース処理

[論文]

- ・乱数シード依存のクラスタリング手法の安定化に対するアプローチ
- ・Micro-Clustering by Data Polishing

河原林 健一 教授

[研究キーワード]

離散数学、グラフ理論、アルゴリズム理論、理論計算機

[論文]

- ・Maximizing Time-Decaying Influence in Social Networks
- ・Coloring 3-Colorable Graphs with Less than $n^{1/5}$ Colors

龍田 真 教授

[研究キーワード]

プログラミング理論、ラムダ計算、型理論、構成的論理、ソフトウェア検証

[論文]

- ・Equivalence of Inductive Definitions and Cyclic Proofs under Arithmetic
- ・Decision Procedure for Entailment of Symbolic Heaps with Arrays

吉田 悠一 教授

[研究キーワード]

アルゴリズム、理論計算機科学、(組合せ)最適化

[論文]

- ・A Characterization of Locally Testable Affine-Invariant Properties via Decomposition Theorems
- ・Testing Assignments to Constraint Satisfaction Problems

岸田 昌子 准教授

[研究キーワード]

制御理論、最適化、不確かなシステム、ネットワークを介したシステム

[論文]

- ・Event-triggered control with self-triggered sampling for discrete-time uncertain systems
- ・Deep learning-based average consensus

平原 秀一 准教授

[研究キーワード]

計算量理論、P対NP問題、回路最小化問題、コルモゴロフ記述量、疑似乱数

[論文]

- ・Non-Black-Box Worst-Case to Average-Case Reductions within NP
- ・NP-hardness of Minimum Circuit Size Problem for OR-AND-MOD Circuits

松本 啓史 准教授

[研究キーワード]

量子情報、量子計算、統計学、情報理論、エンタングルメント

[論文]

- ・エンタングルメントと非局所性
- ・Entanglement and Quantum Information Processing

五十嵐 歩美 助教

[研究キーワード]

アルゴリズムのゲーム理論、公平分割理論、マルチエージェントシステム

[論文]

- ・Almost Envy-free Allocations with Connected Bundles
- ・Fair Allocation of Indivisible Goods and Chores

藤井 海斗 助教

[研究キーワード]

組合せ最適化、アルゴリズム、機械学習

[論文]

- ・Beyond adaptive submodularity: Approximation guarantees of greedy policy with adaptive submodularity ratio
- ・Fast greedy algorithms for dictionary selection with generalized sparsity constraints

横井 優 助教

[研究キーワード]

アルゴリズム、メカニズムデザイン、組合せ最適化

[論文]

- ・Envy-free Matchings with Lower Quotas
- ・Testing Assignments to Constraint Satisfaction Problems

添田 彬仁 准教授

[研究キーワード]

量子情報理論、量子アルゴリズム

[論文]

- ・Non-Black-Box Worst-Case to Average-Case Reductions within NP
- ・NP-hardness of Minimum Circuit Size Problem for OR-AND-MOD Circuits



情報基盤科学

高度情報化社会の基盤となる
計算機と通信技術の発展に貢献

合田 憲人 教授

[研究キーワード]

クラウドコンピューティング、IoT、並列分散計算

[論文]

- ・A Portable Load Balancer for Kubernetes Cluster
- ・Virtual Cloud Service System for Building Effective Inter-Cloud Applications

石川 裕 教授

[研究キーワード]

システムソフトウェア、オペレーティングシステム、通信・ファイルIOミドルウェア、並列分散処理

[論文]

- ・Performance and Scalability of Lightweight Multi-Kernel based Operating Systems
- ・Casper: An Asynchronous Progress Model for MPI RMA on Many-Core Architectures

漆谷 重雄 教授

[研究キーワード]

ネットワークアーキテクチャ、ネットワークサービスシステム

[論文]

- ・Optimization model for designing multiple virtualized campus area networks coordinating with a wide area network
- ・Robust optimization model for backup resource allocation in cloud provider

計 宇生 教授

[研究キーワード]

ネットワーク資源管理、モバイルコンピューティング

[論文]

- ・AVE: Autonomous vehicular edge computing framework with ACO-based scheduling
- ・Accurate location tracking from CSI-based passive device-free probabilistic fingerprinting

鯉渕 道紘 教授

[研究キーワード]

並列計算機、相互結合網、チップ内ネットワーク、システムエリアネットワーク、ハイパフォーマンスコンピューティング

[論文]

- ・A Case for Random Shortcut Topologies for HPC Interconnects
- ・High-Bandwidth Low-Latency Approximate Interconnection Networks

五島 正裕 教授

[研究キーワード]

コンピュータアーキテクチャ、マイクロアーキテクチャ、デジタル回路

[論文]

- ・Skewed Multistaged Multibanked Register File for Area and Energy Efficiency
- ・動的タイム・ボローイングを可能にするクロッキング方式の適用

高倉 弘喜 教授

[研究キーワード]

サイバーセキュリティ、高機能ネットワーク、セキュアネットワーク、データマイニング

[論文]

- ・SPINZ: A Speculating Incident Zone System for Incident Handling
- ・攻撃コードのエミュレーションに基づくWebアプリケーションに対する攻撃の成否判定手法

情報システムの基盤となる計算機システムおよび情報通信

ネットワーク分野において、計算機アーキテクチャ、デジタル回路、並列・分散処理、高性能・高信頼計算、ネットワークアーキテクチャ、プロトコル、セキュリティ、資源管理および性能評価手法などに焦点を当てて、理論的、実践的な研究を行います。

竹房 あつ子 教授

[研究キーワード]

並列分散処理、資源管理技術、クラウドコンピューティング、インタークラウド、エッジコンピューティング、IoT

[論文]

- ・SINETStream: Enabling Research IoT Applications with Portability, Security and Performance Requirements
- ・Virtual Cloud Service System for Building Effective Inter-Cloud Applications

米田 友洋 教授

[研究キーワード]

非同期式システム、高信頼システム、CADツールの開発、形式的検証、リアルタイムシステム

[論文]

- ・Coarse Grained versus Fine Grained Architectures for Asynchronous Reconfigurable Devices
- ・MTJ-Based Asynchronous Circuits for Re-initialization Free Computing against Power Failure

阿部 俊二 准教授

[研究キーワード]

情報通信ネットワーク、ネットワーク性能解析、QoS制御

[論文]

- ・マルチクラウドを利用したVDIの応答性能改善手法の提案
- ・ファイル転送プロトコルMMCFTPによる日米間150Gbps通信の実現

金子 めぐみ 准教授

[研究キーワード]

無線通信、移動体通信システム、無線資源割り当て、干渉制御、無線信号処理

[論文]

- ・Energy Efficient Resource Allocation Optimization in Fog Radio Access Networks with Outdated Channel Knowledge
- ・Deep Reinforcement Learning-based User Association in Sub6GHz/mmWave Integrated Networks

栗本 崇 准教授

[研究キーワード]

ネットワークプロトコル、ネットワークノードアーキテクチャ

[論文]

- ・SINET5: A Low-Latency and High-Bandwidth Backbone Network for SDN/NFV Era
- ・Multi-campus ICT equipment virtualization architecture for cloud and NFV integrated service

福田 健介 准教授

[研究キーワード]

インターネットプロトコル、トラフィック測定・解析・モデリング、ネットワーク科学

[論文]

- ・Mining causality of network events in log data
- ・An Evaluation of Darknet Traffic Taxonomy

ソフトウェア科学

ITのコア技術と付加価値を
生み出すソフトウェア

ソフトウェアは、全産業・全活動の基盤であると同時に付加価値の源泉です。AIの社会実装が広がる時代にあって、益々多様化がすすむ情報システムの鍵を握るのは、高機能、高品質、高信頼のソフトウェアです。本分野では、次世代情報システムの実現に不可欠なソフトウェア科学の重要な学問的課題を扱います。すなわち、プログラミング言語、ソフトウェア工学、分散システムなどの基盤的なソフトウェア技術から、データ工学、機械学習、実世界データ分析などの発展的なソフトウェア技術まで、基礎から応用までの研究を行います。

北本 朝展 教授

〔研究キーワード〕

データ駆動科学、人文情報学、地球環境情報学、画像情報処理、デジタルアーカイブ、オープンサイエンス

〔論文〕

- Differential Reading by Image-based Change Detection and Prospect for Human-Machine Collaboration for Differential Transcription
- デジタル史料批判と歴史学における新発見

佐藤 一郎 教授

〔研究キーワード〕

クラウドコンピューティング、ユビキタスコンピューティング、ミドルウェア、OS

〔論文〕

- パーソナルデータの保護と利活用—改正個人情報保護法とその影響—
- Toward Access Control Model for Context-Aware Services Offloaded to Cloud Computing.

高須 淳宏 教授

〔研究キーワード〕

データ工学、センサデータ解析、テキストマイニング

〔論文〕

- NPE: Neural Personalized Embedding for Collaborative Filtering
- Deep Multiview Learning from sequentially Unaligned Data

蓮尾 一郎 教授

〔研究キーワード〕

論理学、オートマトン、圏論、形式手法、物理情報システム、最適化、機械学習

〔論文〕

- Two-Layered Falsification of Hybrid Systems Guided by Monte Carlo Tree Search
- Lattice-theoretic progress measures and coalgebraic model checking

石川 冬樹 准教授

〔研究キーワード〕

ソフトウェア工学、テストング、形式手法、機械学習工学

〔論文〕

- Targeting Requirements Violations of Autonomous Driving Systems by Dynamic Evolutionary Search
- NeuRecover: Regression-Controlled Repair of Deep Neural Networks with Training History

青木 俊介 助教

〔研究キーワード〕

自動運転、サイバーフィジカルシステム、リアルタイムシステム、組込システム、移動ロボット、Internet of Things

〔論文〕

- Dynamic intersections and self-driving vehicles
- Cooperative perception with deep reinforcement learning for connected vehicles

加藤 弘之 助教

〔研究キーワード〕

XML、データベース、関数型言語、XQuery

〔論文〕

- DDO-Free XQuery
- Cell-based Provenance for Scientific Data

関山 太郎 助教

〔研究キーワード〕

プログラミング言語、型システム、形式検証、機械学習

〔論文〕

- Signature Restriction for Polymorphic Algebraic Effects
- Toward Neural-Network-Guided Program Synthesis and Verification

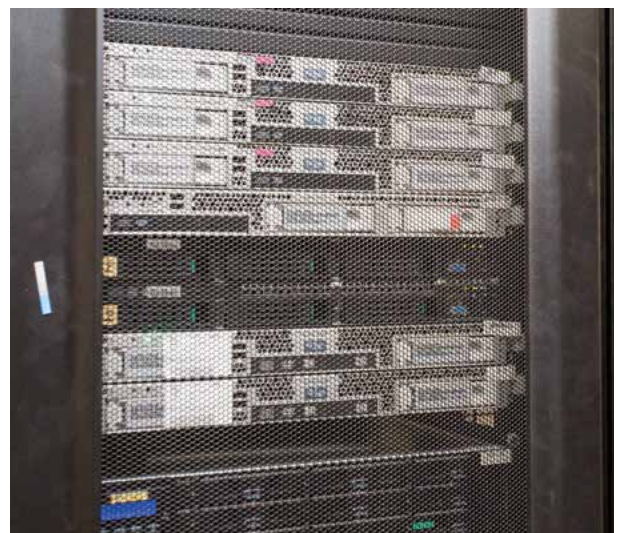
対馬 かなえ 助教

〔研究キーワード〕

プログラミング言語型、型推論、型エラーデバッグ

〔論文〕

- 既存の構文解析器を利用した漸進的構文解析
- A semi-embedded incremental parsing



情報メディア科学

適切な情報を与える、
メディアとしての情報システム

本分野では、「メディア」に関わる様々な課題について研究します。扱うべき情報は多様なメディアからとなりますが、その処理において必要となる理論や技術が研究対象です。すなわち、大量のメディア情報を効率的に扱うための基盤となる理論・技術のほか、パターン認識や信号処理といったメディア処理全般に関わる基礎技術や、人間と情報システム、あるいは、人間同士の対話におけるメディアの効用についても研究します。

新井 紀子 教授

[研究キーワード]

情報共有、知識基盤、読解力

[論文]

- Cognitive diagnosis models for estimation of misconceptions analyzing multiple-choice data
- Can an A.I. win a medal in the mathematical olympiad? -Benchmarking mechanized mathematics on pre-university problems.

佐藤 いまり 教授

[研究キーワード]

イメージ・ベースド・モデリング&レンダリング、コンピューショナル・フォトグラフィ

[論文]

- SymPS: BRDF Symmetry Guided Photometric Stereo for Shape and Light Source Estimation
- Wetness and Color from a Single Multispectral Image

杉本 晃宏 教授

[研究キーワード]

コンピュータビジョン、デジタル幾何、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション

[論文]

- Paired-D GAN for Semantic Image Synthesis
- Modeling Large-scale Indoor Scenes with Rigid Fragments using RGB-D Cameras

山岸 順一 教授

[研究キーワード]

音声情報処理、機械学習、音声インタラクション、音声データベース、生体認証、メディアフィレンジクス

[論文]

- Wasserstein GAN and Waveform Loss-based Acoustic Model Training for Multi-speaker Text-to-Speech Synthesis Systems Using a WaveNet Neural Vocoder
- ASVspoof: the Automatic Speaker Verification Spoofing and Countermeasures Challenge

片山 紀生 准教授

[研究キーワード]

マルチメディア情報処理、マルチメディア情報検索

[論文]

- The SR-tree: An Index Structure for High-Dimensional Nearest Neighbor Queries
- Unsupervised Estimation of Video Continuity Model from Large-Scale Video Archives and Its Application to Shot Boundary Detection

児玉 和也 准教授

[研究キーワード]

画像入力、画像復元／再構成、映像符号化、映像通信

[論文]

- Efficient Reconstruction of All-in-Focus Images Through Shifted Pinholes from Multi-Focus Images for Dense Light Field Synthesis and Rendering
- Robust removal of fixed pattern noise on multi-focus images

後藤田 洋伸 准教授

[研究キーワード]

3Dモデリング・レンダリング、アニメーション

[論文]

- A multilayer display augmented by alternating layers of lenticular sheets
- Design of time-multiplexed autostereoscopic displays based on virtual stacking of multi-layer panels

浅野 祐太 助教

[研究キーワード]

コンピュータビジョン、画像処理、三次元復元

[論文]

- Shape from Water: Bispectral Light Absorption for Depth Recovery
- Coded Illumination and Imaging for Fluorescence Based Classification

池畑 諭 助教

[研究キーワード]

コンピュータビジョン、3次元復元、多視点ステレオ、照度差ステレオ、ディープラーニング

[論文]

- From Bayesian Sparsity to Gated Recurrent Nets
- Panoramic Structure from Motion via Geometric Relationship Detection

孟 洋 助教

[研究キーワード]

パターン認識、映像コンテンツ解析

[論文]

- Unsupervised Estimation of Video Continuity Model from Large-Scale Video Archives and Its Application to Shot Boundary Detection
- Enhanced Visualization of News Shot Cloud with Employing Circular Layout

YU, Yi 助教

[研究キーワード]

表現学習、深層生成モデル、マルチメディアコンテンツ分析、人工知能

[論文]

- Category-Based Deep CCA for Fine-Grained Venue Discovery from Multimodal Data
- Conditional LSTM-GAN for Melody Generation from Lyrics

知能システム科学

人の知的活動の質を高める
人工知能技術を創出

人間の知的作業を人工知能（AI）と呼ばれる技術を用いて、より正確に、かつ、効率的にサポートしていくことが実現されつつあります。本学問分野では、知能システムに関する様々な研究を通して、今後の情報化社会において必要となる知能システム技術を開発できる人材の育成を目指します。

相澤 彰子 教授

【研究キーワード】

自然言語インタフェース、QA、知識獲得、文書解析、意味解析、対話システム

【論文】

- Language-Conditioned Feature Pyramids for Visual Selection Tasks
- Constructing A Multi-hop QA Dataset for Comprehensive Evaluation of Reasoning Steps

井上 克巳 教授

【研究キーワード】

人工知能、推論、機械学習、論理プログラミング、制約プログラミング、マルチエージェントシステム

【論文】

- Linear Algebraic Characterization of Logic Programs
- Learning from interpretation transition

佐藤 健 教授

【研究キーワード】

推論、知識表現、マルチエージェントシステム、機械学習、計算論理、法的推論

【論文】

- Obligation as Optimal Goal Satisfaction
- Modelling Last-act Attempted Crime in Criminal Law

武田 英明 教授

【研究キーワード】

セマンティックWeb、知識共有、コミュニティ支援システム、設計学

【論文】

- Linked Dataによる分野連携型データベースの枠組み
- 動画共有サイトにおける大規模な協調的創造活動の創発のネットワーク分析—ニコニコ動画における初音ミク動画コミュニティを対象として—

PRENDINGER, Helmut 教授

【研究キーワード】

人工知能、深層学習、無人航空機システム交通管理

【論文】

- Decentralized multi-agent path finding for UAV traffic management
- UAV-based situational awareness system using Deep Learning

山田 誠二 教授

【研究キーワード】

ヒューマンエージェントインタラクション、ヒューマンロボットインタラクション

【論文】

- Response Times when Interpreting Artificial Subtle Expressions are Shorter than with Human-like Speech Sounds
- Expressing Emotions through Color, Sound, and Vibration with an Appearance-Constrained Social Robot

稲邑 哲也 准教授

【研究キーワード】

ヒューマンロボットインタラクション、知能ロボット、人間行動のモデリング、人間のデジタルツイン

【論文】

- SIGVerse: A Cloud-Based VR Platform for Research on Multimodal Human-Robot Interaction
- VR platform enabling crowdsourcing of embodied HRI experiments – case study of online robot competition

杉山 磨人 准教授

【研究キーワード】

機械学習、データマイニング、統計、知識発見、バイオインフォマティクス

【論文】

- Tensor Balancing on Statistical Manifold
- Legendre Decomposition for Tensors

坊農 真弓 准教授

【研究キーワード】

社会言語学、会話情報学、発話、身体動作、手話、会話分析、社会的相互行為

【論文】

- 手話相互行為における即興手話表現：修復の連鎖の観点から
- ロボットは井戸端会議に入れるか：日常会話の演劇的創作場面におけるフィードバック

水野 貴之 准教授

【研究キーワード】

計算社会科学、経済物理学、複雑ネットワーク、経済ビッグデータ、ファイナンス

【論文】

- The power of corporate control in the global ownership network
- Structure of global buyer-supplier networks and its implications for conflict minerals regulations

小林 泰介 助教

【研究キーワード】

知能ロボット、機械学習、データ駆動型制御、ヒューマンロボットインタラクション

【論文】

- Whole-Body Multicontact Haptic Human-Humanoid Interaction Based on Leader-Follower Switching: A Robot Dance of the "Box Step"
- t-Soft Update of Target Network for Deep Reinforcement Learning

菅原 朔 助教

【研究キーワード】

自然言語処理、計算言語学、自然言語理解、機械読解、タスクデザイン、機械学習

【論文】

- Assessing the Benchmarking Capacity of Machine Reading Comprehension Datasets
- Evaluation Metrics for Machine Reading Comprehension: Prerequisite Skills and Readability

情報環境科学

情報社会の実現に不可欠な
学問体系

情報環境とは、情報、情報通信基盤、情報管理・流通・
検索システム、人および社会基盤を一体としてみなした概念で、
情報社会の実現に不可欠な学問体系であると理解されるように
なってきました。本分野では、情報環境科学概論を基礎科目とし、
基礎から応用までを体系的に研究します。

越前 功 教授

[研究キーワード]

マルチメディアセキュリティ、マルチメディアフォレンジクス、バイオメトリクス、プライバシー

[論文]

- ・Generating Sentiment-Preserving Fake Online Reviews Using Neural Language Models and Their Human- and Machine-based Detection
- ・MesoNet: a Compact Facial Video Forgery Detection Network

大山 敬三 教授

[研究キーワード]

情報検索、情報システム、Web情報処理、情報アクセス技術、テキスト処理

[論文]

- ・Context Oriented Analysis of Interest Reflection of Tweeted Webpages based on Browsing Behavior
- ・An Exploratory Analysis of Browsing Behavior of Web News on Twitter

神門 典子 教授

[研究キーワード]

情報検索、情報アクセス技術、テキスト処理、評価手法と指標

[論文]

- ・Investigating Result Usefulness in Mobile Search
- ・A Two-Stage Model for User's Examination Behavior in Mobile Search

山地 一禎 教授

[研究キーワード]

学術情報流通、データベース、オープンサイエンス、研究データ管理

[論文]

- ・Specifying a Trust Model for Academic Cloud Services
- ・Development and Deployment of the Open Access Repository and Its Application to the Open Educational Recourses

岡田 仁志 准教授

[研究キーワード]

eコマース、eビジネス、電子マネー

[論文]

- ・Impact of Nationality Information in Feedback on Trust in a Foreign Online Store
- ・Evaluating the influence of country-related pictures on the perception of a foreign online store

孫 媛 准教授

[研究キーワード]

パーソナライズド学習、認知診断モデル、知識追跡、ビブリオメトリクス

[論文]

- ・Modeling Learner's Dynamic Knowledge Construction Procedure and Cognitive Item Difficulty for Knowledge Tracing
- ・Research on the Development of Preprint Platform from the Perspective of Open Communication

西澤 正己 准教授

[研究キーワード]

科学計量、計量文献、研究動向、統計分析

[論文]

- ・A Study on the Academic and Research Impact of Shared Contents in Institutional Repositories in Related to Performance Indicators of University Rankings
- ・How is scientific research announced in a press release? - Focusing on its relationships with journal indicators -

客員教員

胡 振江

ソフトウェア科学分野担当
客員教授

佐藤 真一

情報メディア科学分野担当
客員教授

PLANAS, Emmanuel

国際連携担当
客員教授

情報学専攻におけるイベントの紹介

国立情報学研究所・オープンハウス

国立情報学研究所では、毎年6月頃、研究成果等を一般の方々に紹介するオープンハウスを開催しており、参加者は毎年1,000名以上です。オープンハウスでは、総研大の学生もポスター展示を行い、多くの方に自身の研究成果を発表しています。



学位授与記念メダル贈呈式・修了生研究成果発表会

国立情報学研究所では、総研大の修了式とは別途、情報学専攻の修了生に対する学位授与記念メダル贈呈式を実施しており、修了生1人1人に対して国立情報学研究所長からメダルが手渡されます。また式典終了後には、在学中の研究成果を発表する修了生成果発表会が開催されます。



学生の研究



益岡 幸弘

2018年入学
博士課程（5年一貫制）
主任指導教員：龍田 真 教授

私はソフトウェア検証の基礎理論を研究しています。ソフトウェア検証とは「プログラムが意図したとおり動くのかどうかを『数学的に』証明することです。私は「分離論理」や「循環証明体系」という数理理論学の概念を使っている検証に興味があり、それらの数学的な特徴を明らかにすることに取り組んでいます。特に「循環証明体系」は、基本的な性質についてまだわかっていないことが多く、一番興味をもって取り組んでいます。

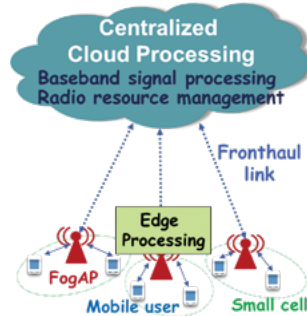
$$\frac{P \vdash Q}{P * S \vdash Q * S}$$



DINH, Thi Ha Ly

2017年入学
博士課程（5年一貫制）
主任指導教員：金子 めぐみ 准教授

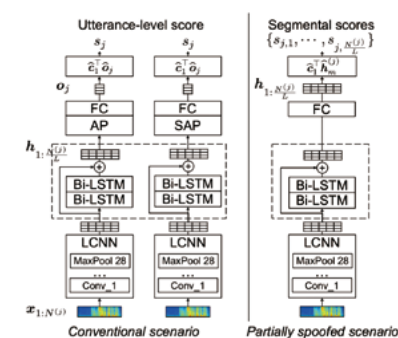
移動体通信システム加入者の急増やIoTの普及に伴い、無線データ量は今後も爆発的に増えると予想されます。一方で、無線資源である電波の周波数には限りがあり、現時点で既に不足しています。今後は益々厳しい状況になっていく中、将来の無線通信システムには超高性能が要求されています。その中で、私は次世代情報通信システムにおける、クラウドやフォグ無線アクセスネットワークの無線資源・エネルギー資源割当法について研究を進めています。特に、数理最適化及び機械学習を活用し、アプリケーション毎の多様な要求品質を保証しつつ、グローバルなネットワーク性能を改善できる、「スマート」な無線資源制御法の設計に取り組んでいます。



ZHANG, Lin

2020年入学
博士課程（3年次編入学）
主任指導教員：山岸 順一 教授

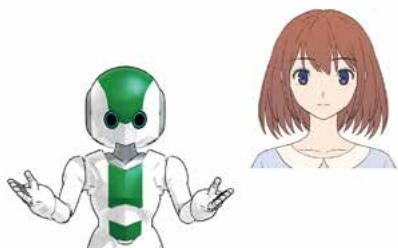
既存のなりすまし検知システム（CM）は、入力音声全体がなりすまし攻撃か否かの判定しかできないため、単語やフレーズ単位での判定を行いません。私の研究は、単語やフレーズなどのセグメントレベルまたは言語単位でのなりすまし攻撃の検出をテーマとして、より高精度ななりすまし検知手法に専念しています。私の研究により、音声信号のどのセグメントがなりすまし音声であるかをより簡単に可視化することも期待されています。



津村 賢宏

2019年入学
博士課程（5年一貫制）
主任指導教員：山田 誠二 教授

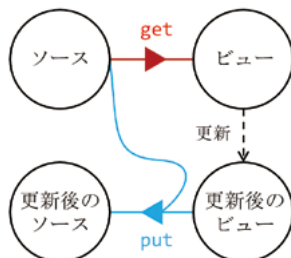
ヒューマンエージェントインタラクション（Human-Agent Interaction）は人間と擬人化エージェントやロボットのインタラクションを対象とする研究領域です。その中で、私の研究は人間とエージェントの共感によるエージェントの社会進出です。これから社会に浸透が進むエージェントに対する不安感や不快感を改善する方法の1つとして、共感に着目してエージェントへの印象を改善します。外見や自己開示、タスクなど、様々な要因を利用します。この研究はこれまで人間同士で共感を引き起こす要因を人間とエージェントの関係に発展させ、人間の共感能力の拡張と、エージェントが共感能力を獲得するのに期待されます。



NGUYEN, Trong Bach

2018年入学
博士課程（5年一貫制）
主任指導教員：蓮尾 一郎 教授

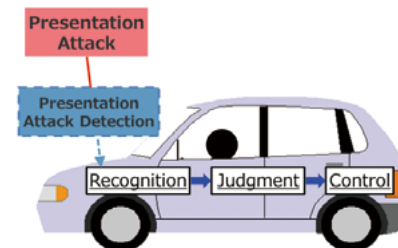
双方向変換とは、2つの関連する知識表現（ソースとビューと呼ばれる）の間の首尾一貫性を保つための手法です。ビューが更新されたとき、首尾一貫性を保つためにソースの側も適切に更新されなければなりません。双方向変換は多くの分野で応用され、データベースやユーザーインターフェイスデザイン、モデル駆動開発などが例です。私は主に、筋の良い双方向変換を行うための双方向プログラミングについて研究してきました。特に、単純なプログラムを組み合わせる双方向プログラムを構築する際、その実行を効率化するためのさまざまな解釈手法を提案してきました。現在、入出力例や型情報を仕様として用いるような、双方向プログラムの自動生成について研究を行っています。



WANG, Jian

2021年入学
博士課程（3年次編入学）
主任指導教員：越前 功 教授

自動運転の開発に伴い、セキュリティの議論も盛り上がっています。カメラなどのセンサに対する攻撃は自動運転車にとって大きな脅威となり、深刻な交通事故が引き起こされる可能性があります。そこで私は自動運転車のカメラセンサが攻撃に対して脆弱か否か、どのような攻撃を受ける可能性があるのか、攻撃を受けた場合の損害はどの程度あるのか、などを把握し、さらに、これらの攻撃を防止する手法の研究に取り組んでいます。



修了生メッセージ



和賀 正樹

2020年
総合研究大学院大学 情報学専攻
3年次編入学博士課程修了

京都大学情報学研究科にて助教として、物理情報システムの軽量形式検証による品質保証の研究を行う。

私は修士課程修了後、指導教員である蓮尾一郎准教授の異動にともない総研大に3年次編入しました。在学時には、自動車などの高い信頼性が要求される物理情報システムに対する、論理やオートマトンなどの数学的な手法を用いた信頼性向上に関する研究に取り組んでいました。現在は京都大学情報学研究科に助教として在籍しており、引き続き物理情報システムの信頼性向上に関する研究に取り組んでいます。

総研大情報学専攻の大きな特徴に、社会人学生などを除き入学者全員がリサーチアシスタント(RA)として雇用されるということがあります。RAとして雇用されることで、研究課題に

取り組みつつ経済的なサポートを得ることができる制度になります。また、特に優れた学生を対象として特別RAの制度もあり、無事特別RAと審査された場合にはより通常より多くの額がRA給与として支給されます。これらの制度は専攻学生にとっては非常に助かります。

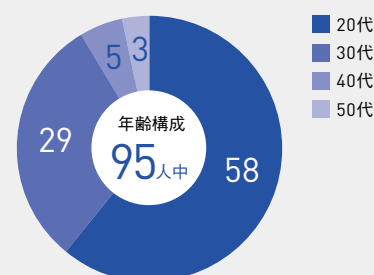
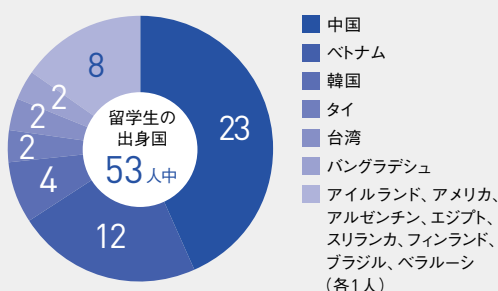
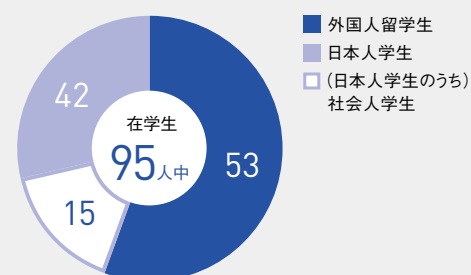
また、本専攻の教員は国立情報学研究所(NII)の教員も兼任されています。その関係で、NIIで毎年開催されるオープンハウスなどで他分野の研究者や企業の研究者、さらには一般の方向けに自身の研究を発表する機会もあります。自身の専門分野の国際会議などと比べてより多様な聴衆に対して発表を行い、様々なコメン

トを頂くことで、自身の研究を改めて見直す機会が多い環境でもあります。

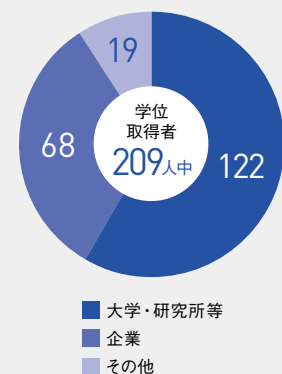
さらに、総研大では多くの留学生やインターンシップ学生が学んでいます。多くの学生と研究に関する議論を行うことで、研究の幅が広がり課題解決に繋がることも数多くあります。また日々の雑談などを通して、英語力を身に付けたり異文化を学ぶことも総研大の強みでしょう。

この様に、総研大では学生への手厚いサポートに加えて自分の研究の幅を広げる機会が数多くあります。研究の視野を広げることで、自分自身の研究をより深めることができると思いますが、そういった機会の多い総研大の環境は非常に魅力的です。

学生データ (2022年4月現在)



学位取得者の主な就職先一覧



【大学・研究所など】

NHK放送技術研究所, 沖縄科学技術大学院大学, 関西学院大学, 九州大学, 京都大学, 国立情報学研究所, 国立研究開発法人産業技術総合研究所, 国立研究開発法人情報通信研究機構, 総務省, 筑波大学, 東京大学, 東京工業高等専門学校, 東京工業大学, 豊橋技術科学大学, 奈良先端科学技術大学院大学, 法政大学, 北陸先端科学技術大学院大学, 防衛省, 明治大学, 山梨大学, 国立研究開発法人理化学研究所, 立命館大学, 早稲田大学, Bangkok Univ., CITEC, Ecole Centrale, Hanoi Univ. of Science and Technology, National Electronics and Computer Technology Center(NECTEC), Royal Institute of Technology(KTH), Ulsan National Institute of Science and Technology, Univ. of Dhaka, Univ. of Oxford, Univ. of Quebec at Montreal(UQAM), Vietnam National University

【企業】

(株)ACCESS, (株)HCLジャパン, KINTOテクノロジーズ(株), (株)SBI BITS, KDDI(株), (株)サイバーエージェント, セコム(株), (株)ソーニーインタラクティブエンタテインメント, 東芝インフラシステムズ(株), 東芝メモリ(株), 任天堂(株), 日本IBM(株), 日本電気(株), 日本電信電話(株), 日本ユニシス(株), パナソニック(株), 東日本電信電話(株), (株)日立製作所, ファーストアカウンティング(株), 富士通(株), (株)富士通研究所, 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株), 楽天(株), (株)ワークスアプリケーションズ, Government Information Technology Services, HUAWAI, Metamedia Technology Co.,Ltd., Total Access Communication PCL

※機関名および企業名は就職時点のものになります。

学会等における受賞

- ・一般社団法人 人工知能学会, 第35回全国大会 優秀賞
- ・卒論 OPEN AWARD 2021, 優秀賞
- ・29th International Conference on Artificial Neural Networks (ICANN20), Springer & ENNS Best Paper Award
- ・社会言語科学会, 第20回 (JASS43) 研究大会発表賞
- ・一般社団法人 日本音響学会, 第20回 (2019年秋季研究発表会) 学生優秀発表賞
- ・ILP 2019: 29th International Conference on Inductive Logic Programming, Best Student Paper Award
- ・Semantic Web Challenge on Tabular Data to Knowledge Graph Matching, 第1位
- ・17th International Conference on Formal Modeling and Analysis of Timed Systems (FORMATS 2019), 最優秀論文賞 (Oded Maler Award)
- ・一般社団法人 情報処理学会, 研究会推薦博士論文
- ・一般社団法人 情報処理学会, 第81回全国大会 大会優秀賞

他

経済的支援制度

奨学金等による支援

● リサーチ・アシスタント（RA）

国立情報学研究所は、原則として申請者全員をRAとして雇用します（社会人学生、国費留学生、総研大特別研究員は除く）。

RAとは、指導教員の下で特定の研究課題に取り組む学生雇用制度であり、研究との関連が配慮されています。

月収の目安：10万円程度

● 総合研究大学院大学・授業料免除制度

入学科・授業料については、経済的理由により納付が困難で、かつ学業優秀な者等に対し、入学後選考のうえ免除が認められる制度があります。

● その他の奨学金 表記は月額

日本学生支援機構奨学金（旧日本育英会奨学金）		貸与
第一種奨学金（無利息）	修士課程相当 ▶	5万円または8万8千円
	博士課程相当 ▶	8万円または12万2千円
第二種奨学金（利息付）	5万円・8万円・10万円・13万円・15万円から選択	

*入学後、総合研究大学院大学を介して申請

各種民間財団の奨学金

支給・貸与

7～10万円程度

*入学後、募集のある都度、総合研究大学院大学を介して申請

● 総研大特別研究員

基礎研究・学術研究の将来を担う人材を育成するために、本学の学生を特別研究員として採用し、3年間研究費等を支給すると共に、優れた研究を行って修了した採用者に対して大学共同利用機関等における2年間の研究職へのキャリアパスを支援する制度です。

給付金額	研究専念支援金 19万円/月 (2022年度予定額)	研究費 上限22万円/年
------	----------------------------------	-----------------

*書類審査、面接による選考を実施します。

*修了後に他の研究機関や民間企業の職を得ることを妨げるものではありません。

インターンシップや国際会議参加への支援

● SOKENDAI 研究派遣プログラム

「高い専門性」「広い視野」「国際的な通用性」を持つ研究者人材の育成を推進するため、海外での短期の研究活動や、将来のキャリア構築につながる国内外での長期の共同研究等に主体的に取り組む学生に対して必要な経費を支援しています。



● 情報学専攻・トップ会議参加奨励費

情報学専攻では、学生が世界的に著名な国際会議に積極的に参加・発表することを専攻として奨励するため、参加に必要な経費を支援しています。



支援対象となった国際会議

・ICASSP (カナダ、トロント) *オンラインに変更
・ICME (中国)

・Interspeech (チェコ、ブルノ)
・ICTAI (オンライン)

研究環境・キャンパス環境

情報学専攻における学生の研究や講義は、国立情報学研究所で行われます。

研究に必要な設備や講義室は整備されており、計算機やPCなどの機器は各研究室が用意しています。

研究環境



ネットワーク

有線LAN及び無線LANを各フロアに配備。また、VPNにより、所外から所内の研究リソースにアクセスが可能です。Eduroamの利用により、世界中の主要な大学で、NIIアカウントでWi-Fi接続可能。

研究クラウド

研究所が所内研究用に整備した、高性能クラウドを利用できます。

図書室

図書室は、24時間開館。いつでも貸出・返却が行えます。書庫には情報学分野の電子ジャーナルを中心に、図書約3万冊、雑誌約200タイトルを所蔵しています。

主要なオンラインジャーナルデータベースなど

ACM Digital Library (Association for Computing Machinery), APS online (American Physical Society), IEL (IEEE, IEE), MathSciNet (American Mathematical Society), Springer Link (Springer Nature), Science Direct (Elsevier B.V.), Wiley Online Library (John Wiley & Sons.), IEICE (電子情報通信学会), 情報学広場 (情報処理学会)

キャンパス環境



講義室

情報学専攻の講義はマンツーマンに近い形で行われます。また、遠隔講義を受講することも可能です。



大学院生室

24時間利用可能な大学院生室で、多様なバックグラウンドを持った学生が研究を行っています。



食堂

明るく清潔感のある食堂では、落ち着いた雰囲気でお食事ができます。



喫茶室

喫茶室では、食事のほか、研究会後の懇親会なども開かれます。



ミーティングスペース

14階と18階には学生や研究者同士で交流ができるラウンジがあり、イベントなども開かれます。



国際高等セミナーハウス

軽井沢にある国際高等セミナーハウスでは、研究合宿などが行われます。

入学試験概要

[博士課程(5年一貫制)／博士課程(3年次編入学)共通]

2022年10月(第2回)

出願期間	2022年7月7日(木)～7月13日(水)
入試時期	2022年8月15日(月)～8月26日(金)

2023年4月入学(第1回)

出願期間	2022年9月22日(木)～9月28日(水)
入試時期	2022年11月1日(火)～11月10日(木)

※2022年6月時点での予定であり、変更の可能性があります。
日程等が確定しましたら、ホームページでお知らせを掲載します。

2023年4月入学(第2回)または2023年10月入学(第1回)

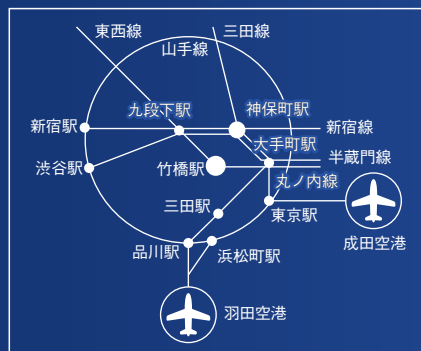
出願期間	2022年12月8日(木)～12月14日(水)
入試時期	2023年1月16日(月)～1月27日(金)

※2022年6月時点での予定であり、変更の可能性があります。
日程等が確定しましたら、ホームページでお知らせを掲載します。

※詳細は募集要項に掲載されます。下記をご確認ください。
https://www.soken.ac.jp/admission/general_admission/guideline/hukugoh/

アクセス

情報学専攻のキャンパスは、皇居にほど近い東京・千代田区の国立情報学研究所内にあり、抜群のアクセスと充実した研究環境を備えています。



神保町、竹橋駅から徒歩3分

国立情報学研究所
総務部 企画課 国際・教育支援チーム

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2
Tel : 03-4212-2110
Email : daigakuin@nii.ac.jp
<https://www.nii.ac.jp/graduate/>

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所
National Institute of Informatics